

巡って飲んで 飛騨の3酒蔵がタッグ

飛騨市内の3酒蔵を巡る「飛騨三蔵まいり」が、11月3日に始まる。同市古川町で毎年1月15日にある「三寺まいり」にあやかっって初めて企画し、御朱印帳ならぬ「御酒飲帳」を手にとりそれぞれの蔵を訪れてもらうほか、3酒蔵の酒をブレンドした記念酒の限定販売も。普段は醸造の出来を競うライバル同士も、タッグを組んで盛り上げる。来年1月15日まで。

(吉本章紀)

中 日 新 聞

2023年(令和5年)10月24日(火曜日)

記念酒をPRする(右から)大坪社長、蒲社長、渡辺社長=いずれも飛騨市古川町で



3酒蔵は神岡町の大坪酒造店と古川町の蒲酒造場、渡辺酒造店。10月25日に3酒蔵と飛騨古川まつり会館で発売する「御酒飲帳」(前売り900円、期間中は千円)を購入すると、記念酒をおちよこでそれぞれの秘蔵酒が飲めるほか、11月3日から市内で限定販売する記念酒を一本購

入する権利も得られる。3酒蔵を回ると、27の飲食店で使えるクーポンももらえる。記念酒は各蔵の代表銘柄である「神代」、「白真弓」、「蓬菜」を独自の比率でブレンドした。ブレンドを担当した渡辺酒造店の渡辺久憲社長は「それぞれの持ち味を生かし、豊潤であ

御朱印…ならぬ「御酒飲帳」 来月3日から「三蔵まいり」



りながら、切れの良い辛口に仕上がった」と手心を語る。

イベント初日の3日には、酒蔵などの3カ所で音楽の演奏会、古川町のまつり広場でマルシェを開催。大坪酒造店が出張出店し、市内の業者と3酒蔵が連携した酒まんじゅうと酒プリンの販売もある。

大坪酒造店の大坪和己社長と蒲酒造場の蒲敦子社長、渡辺社長は「楽しいイベントになって飛騨市に人が来てくれれば」と抱負。市観光協会会長で、飛騨三蔵まいり実行委の渡辺隆委員長は「お酒を飲まない人でも楽しめるようにしている。三つのいい蔵を回って、飛騨の文化を感じてほしい」と話した。市観光協会☎0577(74)1922



飛騨三蔵まいりの「御酒飲帳」=飛騨市観光協会提供